

臨床検査に関するお知らせ



株式会社セントラル医学検査研究所

TEL(本社)029-225-8858 (下館)0296-28-5900

先生各位

2021年10月

A-21-19

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、血液凝固分析装置及び測定試薬の切り替えに伴い、下記項目における基準値を変更させていただきます。また、報告範囲を新たに設定しましたのでご案内致します。

尚、データの変動に関しましては裏面の試薬情報をご覧頂きたくお願い申し上げます。

敬具

記

◆ 実施日

2021年11月1日(月) ご依頼分より

◆ 変更内容

2020・21年 検査案内	項目 コード	検査項目	変更箇所	新	旧
p.39	30410	フィブリノゲン分解産物 (FDP)	基準値・単位	5.0 以下 $\mu\text{g/mL}$	5.0 未満 $\mu\text{g/mL}$
			報告範囲	2.5 未満～960 以上 $\mu\text{g/mL}$	—
	31010	フィブリノゲン (Fbg)	報告範囲	30 未満～900 以上 mg/dL	—
	31020	プロトロンビン時間 (PT)	基準値・単位	10.1～12.4 秒	10.7～12.9 秒
			備考欄	PT 活性値：86.0～124.1 %、 PT 比：0.88～1.09、 PT-INR：0.88～1.10	PT 活性値：80～120%、 PT 比：0.88～1.06、 PT-INR：0.88～1.06
			報告範囲	7 未満～180 以上 秒	—
31030	活性化部分トロンボ プラスチン時間 (APTT)	基準値・単位	24.0～34.0 秒	24.0～39.0 秒	
		報告範囲	15 未満～180 以上 秒	—	
31230	アンチトロンビン活性 (AT - III活性)	報告範囲	10 未満～150 以上 %	—	
p.40	31270	D ダイマー (DD)	基準値・単位	1.00 以下 $\mu\text{g/mL}$	1.00 未満 $\mu\text{g/mL}$
			報告範囲	0.5 未満～800 以上 $\mu\text{g/mL}$	—

※ 測定原理に変更はありません。

裏面に続く

◆ 試薬情報

APTT：トロンボチェック APTT SLA

APTT 試薬は種類により因子感受性が異なる為、試薬種類の変更により検体によっては測定値に差が出る場合があります。ヘパリンモニタリング患者様等のデータに関してはご注意ください。

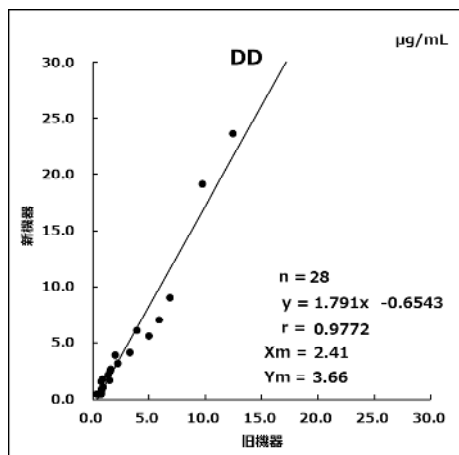
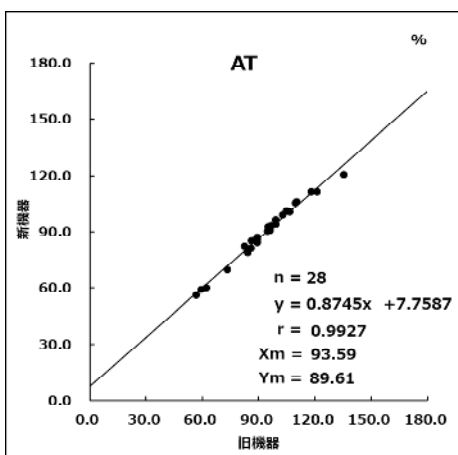
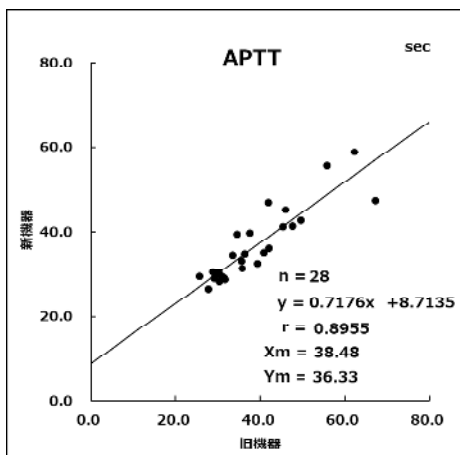
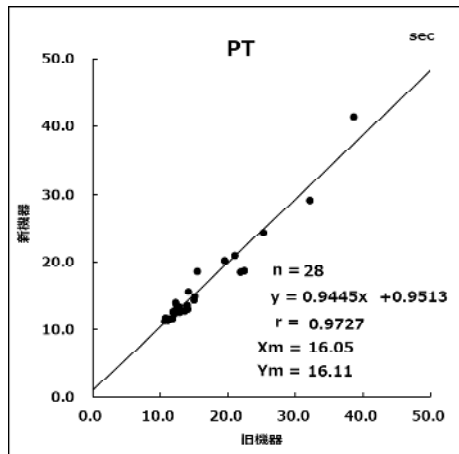
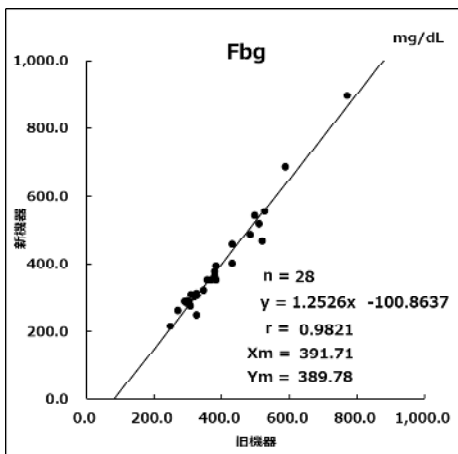
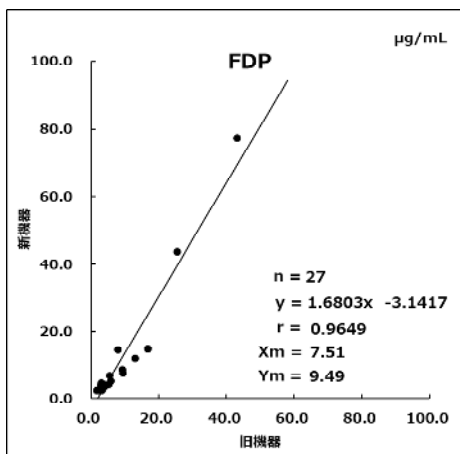
FDP：リアスオート P-FDP

線溶活性が亢進している病態では、現試薬と比較して高値を示す傾向にあります。

DD：リアスオート D ダイマー・ネオ

高分子分画が多く含まれる検体では、現試薬と比較して高値を示す傾向にあります。

◆ 新旧の相関 ※社内検討データ



< 問合せ：血液検査室係長 野崎 >